

9月は、多くの小中学校で運動会や文化祭、音楽会等の大きな行事が行われ、行事に向けた準備の慌ただしさの中での生活となり、行事が上手くいくかということに目が向きやすいものです。それだけでなく行事の準備をする過程の中で、子どもたちのかわりやよさを捉えて、子どもの成長を促し、学級づくりを進めていくようにしましょう。



<小学校>

学級づくりをキャリア教育の視点からみると

朝の会 帰りの会で “ 歌いませんか ”

学級で歌を歌うことで、仲間意識が高まり、学級としての一体感も生まれます。

歌うことを朝の会や帰りの会に位置付けてみてはいかがでしょうか。

歌は、いつでも、どこでも、誰とでも気軽にできる活動です。



声を出し、言葉を発することで、気持ちも表出され、心が開放されます。

先生も一緒に歌うことで、友達はもちろん、先生との一体感が味わえます。

テンポを変えたり、輪唱をしたりするなど、子どもの発想を生かすことで、楽しみが広がります。



相手を思いやる心を育む班活動

班活動は、学級における学習や生活づくり、助け合える関係づくりの基盤となるものです。班活動をこれまで以上に活性化させるために、班の仲間のいいところを見つけて班新聞を発行してみるのはどうでしょうか。

〈班新聞の内容例〉

- ・ 班の紹介と役割分担
- ・ 班の目標とがんばっていること
- ・ 仲間のいいところを見つけよう！
- ・ この班のこんなところがよかったよ

班が発足した時、行事があった時、班活動のまとめをするときなど、定期的に発行することもできます。自分のいいところ、みんなでがんばっていること、それをみんなでたたえ合うことを通して、子どもが安心して生活できることにもつながります。これにより、キャリア教育で育む人間関係形成・社会形成能力の向上が期待できます。

<中学校>

学級づくりをキャリア教育の視点からみると

文化祭はクラスが成長する
大きなチャンス

2学期最大の学校行事の一つである文化祭。「クラスみんなでがんばった。みんながいたからがんばれた」という思いが残るように、クラスが成長するよう担任として生徒の活動を支えていきましょう。

○クラス独自の取り組みをつくりましょう

- ・ 合唱や体育祭、学級展示などに向けて学級の目標や約束を決めましょう。
- ・ 目標達成のためのアイデアを、生徒と共に考えましょう。

○学級通信等でお互いの思いを伝えあいましょう

- ・ 文化祭に向けた取組の中で生徒が感じていることを、学級全体に広げていきましょう。
- ・ 担任の願いやクラスのために頑張っている生徒へのメッセージを伝えましょう。

友のよさを認め合う場面の工夫

文化祭やクラスマッチが近づいてくると模造紙や黒板に「優勝!!」「絶対勝つ」などの一人一人の決意や目標が書かれた掲示を見かけることがあります。士気を高めたり、学級の団結を強めたりするには有効だと思いますが…。



～ここでひと工夫～

個人の決意や目標だけにせず、

- ・ 「感謝」をテーマに、今までの授業や練習で友だちと頑張ってきたことを記入する。
- ・ 「みんな」をテーマに、本番の競技や演奏以外で学級みんなで取り組みたいことを記入する。

友だちの思いを知り、共感することができれば、互いのよさを認め合うことにつながります。

これは、キャリア教育で育む人間関係形成・社会形成能力の向上につながるのではないでしょう。